

令和5年度「京都市民健康づくり推進会議」
第3回「食育推進部会」「身体活動・運動推進部会」「口腔保健部会」摘録

<開催日時>

令和6年2月19日（月）午後1時～午後2時30分

<開催場所・形式>

Zoomによるオンライン開催
ハートンホテル京都 2階「高雄」

<摘 録>

1 開会挨拶 京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室長

2 出席者紹介等 事務局

3 議 事 進行 身体活動・運動推進部会 部会長

(1) 「京都市 健康長寿・口腔保健・食育推進プラン（仮称）」骨子案に対する市民意見募集の結果について

(2) 「京都市 健康長寿・口腔保健・食育推進プラン」最終案について

報告・説明 事務局

- ・ 【資料4-1】「京都市 健康長寿・口腔保健・食育推進プラン（仮称）」骨子案に対する市民の皆様からの御意見・御提言と本市の考え方
- ・ 【資料4-2】 〃 別紙
- ・ 【資料5-1】 「京都市 健康長寿・口腔保健・食育推進プラン」最終案
- ・ 【資料5-2】 〃 データ補足資料（案）
- ・ 【資料5-3】 〃 イメージ図（取組方針1）（案）
- ・ 【資料5-4】 〃 市民の健康づくりの状況を確認する数値（案）

意見聴取等 ○機関・団体等 ◎部会長（食育推進部会、身体活動・運動推進部会、口腔保健部会）●事務局

◎部会長（口腔保健部会）	・ パブリックコメントから市民が骨子案を細かなところまで読み込んでいたことが分かった。今後は市民の一人ひとりが主治医となり、生活習慣病を予防していくというような動きになったらよいと感じた。
◎部会長（食育推進部会）	・ パブリックコメントから食育に対して関心が高いことを実感した。みんなの協働による食育の例がコラムとして記載することとなったが、次回のプランにはもっと多くの実例が掲載できるように取り組んでいければと思う。
◎部会長 （身体活動・運動推進部会）	・ 市民の皆様からの御意見から、「歩く」にフォーカスを当てていることに対してご理解いただけていることが分かった。また、今回の修正で細かな解説が記載され、より分かりやすいプランになっていると感じた。
○市民公募委員	・ 【資料4-1】P4に記載している「みんなの協働による食育」の「協同」

<p>●事務局 ○(一社)京都府歯科医師会</p> <p>◎部会長 (口腔保健部会)</p> <p>○京都市域女性連合会</p> <p>◎部会長 (身体活動・運動推進部会)</p> <p>○(公社)京都府栄養士会</p> <p>○(一社)京都府歯科医師会</p> <p>○学識経験者</p> <p>◎部会長 (身体活動・運動推進部会)</p> <p>●事務局</p>	<p>は「協働」の間違いではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「働」の間違いであるので、本会議資料で修正する。 ・ 今回のプランでは、「口腔健康管理」の単語が使用され、その説明も記載されることとなったが、まだ社会には浸透されていない単語である。今後、数年間で単語が浸透していき、市民がその意味を理解し、重要性を感じてもらえる流れになるのではと思う。歯科医師会としても全身の健康管理につながるものとして口腔健康管理を推し進めていきたいと考えているので、オーラルフレイルと共に、他団体の方にも「口腔健康管理」を活用してもらいたい。 ・ 「口腔健康管理」という単語は新しく出来た単語であるので、これから市民権を得られるように我々頑張っていきたい。 ・ パブリックコメント募集案内の送付を、もう少し早くしていただくと、会員への周知に余裕を持つことができたので、次回以降お願いしたい。 ・ 【資料5-1】P17 デジタルトランスフォーメーションの解説において、ICTが使用されているが、ICTについても解説が必要ではないか。 ・ 市民からの意見をきかせていただき、栄養士会としても今後より一層、食育に力を入れていきたいと思う。また、栄養と口腔保健についても、引き続き連携して取り組んでいきたい。先日、能登半島へ災害支援を行った際、栄養の観点からだけでなく、口腔の側面からも支援をすることが重要であると感じた。今後、災害支援を行う時には、歯科衛生士の方等とチームになって支援することができれば、より細やかなケアができると思う。 ・ 計画としては、よいものできたと思うが、今後はどのように実現するかが重要になってくる。災害支援はもちろんのこと、食文化の面からも「食べる」ということを多くの団体の方と協働して取り組んでいきたい。 ・ 今回のプランでは、歩くことを核とした健康づくりという事のほか、市民の健康づくりを支える環境づくりについても明記されている。令和6年4月から計画期間となる健康日本21（第3次）においては、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりについて記載されているが、今回のプランにはその点について全く触れられていない。「歩くまち京都」と言われていることもあるので、プランの中に記載されていないことは不自然である。 ・ プランの中で「歩くまち」ということについて触れられていたかと思うが、事務局から説明をお願いしたい。 ・ 今回のプランにおいては、【資料5-1】4ページ目に記載してある「連携する主な分野別計画」に記載している「歩くまち・京都」総合交通戦略2021の中で「歩くまち」について中心に推進し、健康づくりの点からも連携を図ることとしている。具体的な健康づくりとしては【資料5-1】18ページ目に記載しているとおり、「歩くまち・京都」を楽しみながら取り組む健康づくり」を掲げており、主管である都市計画局歩くまち京都推進室と連携を図りながら推進していきたいと考えている。
---	---

<p>◎部会長 (身体活動・運動推進部会)</p> <p>○学識経験者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「歩くまち・京都」の一例として、【資料5-1】12ページ目に、プラスせんぼの説明として、四条通烏丸通交差点から河原町交差点までの歩行距離について紹介している。 ・ 市民に「歩く」を伝えていく際は、プラスせんぼの説明のように具体性を持つことが重要であると思う。 ・ 今回のプランでは「歩く」ことについて呼びかけはできているが、「歩きたくなるまちづくり」についてはどう考えているか聞きたい。
<p>●事務局</p> <p>◎部会長 (身体活動・運動推進部会)</p> <p>○学識経験者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【資料5-1】18ページ目に記載している「「歩くまち・京都」を楽しみながら取り組む健康づくり」に包含されている具体的な取り組みの一つとして、都市計画局歩くまち京都推進室で推進されているモビリティマネジメントの推進や歩いて楽しいまちなか戦略として歩行空間における賑わいの創出等、歩いて楽しいまちづくりをテーマに様々な取り組みを推進しているので、健康づくりを担当する主管課としても連携を図っていく所存である。 ・ 京都市全体として「歩くまち・京都」を連動して取り組んでいることを説明するコラム等が記載されてもよいかと思う。 ・ 研究データとして、街路樹が多い場所は歩くことにプラスに作用し、雑草が多い場所はマイナスに作用するということが発表されていることから、緑を育むということも取り入れてもよいかと思う。
<p>○(一社)京都府薬剤師会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の部会を通して感じたことだが、薬剤師会は口腔保健部会のみ構成団体として参加しており、他の2部会には参加できていないことが、大変残念である。もし、口腔保健部会以外で参加できていれば、高齢者で問題となっているポリファーマシーについて意見を述べることもできた他、青少年における市販薬の過剰摂取についてや、薬剤師会で取り組んでいる高血圧治療や禁煙治療アプリの活用についても言及できたと思う。次回からは、できれば3部会すべてに参加できれば大変うれしい。
<p>◎部会長 (身体活動・運動推進部会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ この後の議事の3につながる建設的なご意見であったと思う。最近、若者がエナジードリンクを多量飲用し、心停止を起こすことが問題とされていることもあるので、まちの健康ステーションとしての薬局の役割はとても大切である。
<p>○(一社)京都府薬剤師会</p> <p>○(一社)京都府歯科技工士会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校薬剤師からも薬について教育現場で伝えることができると考えている。 ・ 先日、能登半島へ災害支援に行き、平時からの健康づくりの重要性を身にしみて感じた。今回のプランは非常に細かな点まで記載されているので、もう一度読み返して勉強していきたい。
<p>○(公社)京都市保育園連盟</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野菜摂取の重要性について子供たち含め、保護者に対しても呼びかけていきたい。 ・ 保育園の現場として取り組めることとして、食育の一環として食の経験を通して色々な食材を食べることができる子を育てていきたい。また、食育の面からは、食塩摂取量の過剰摂取を防ぐためにも、だしを効かせた給食の提供をし

○(一社)京都府歯科医師会	<p>ていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯の健康に関する取り組みとしては、歯磨き指導や歯の大切さについての指導を行うことが重要であると思う。
○(一社)京都府歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最近では、子どものむし歯の罹患率が減少しており、歯科医師会としては、今後は国の政策にもあるように大学での歯科健診を推進していきたい。
○京都市小学校長会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市内の小学校給食においては、季節の食材をとり入れ、だしを効かせたおいしい給食を提供されていると聞いているので、おいしい給食を食べるためにも歯が大切であるということを伝えていきたい。
○京都市立中学校長会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、中学校給食も開始されるということもあるので、薄味でおいしく、食感や歯ごたえも感じられるような給食を目指してほしい。
○京都市立中学校長会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校では安全でおいしい給食を提供している。また、子どもたちの健やかな成長のために、フッ化物洗口をし、歯科健診も定期的実施しているので、今後も会として部会に参加していったらと考える。薬物については、高学年の授業において学校薬剤師の方から薬物乱用の危険性について授業いただいております。今後も自分の体を守ることにしても教育していきたいと考えている。
◎部会長 (食育推進部会)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和10年度から中学校給食が開始と計画されていることから、PTA等向けに給食試食会の実施や食育に関する講演会を行っている。中学校ではSDGsについて学ぶこととなるので、様々な視点から食への関心を引き出していき
◎部会長 (食育推進部会)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小さい頃から食育を行っていくことは大切であり、高校・大学となった時にも途切れることなく一貫性をもって取り組める仕掛けづくりができればと思う。
○ヘルシーキャンパス京都ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回のプランにおいては、PHRを活用した健康づくりについてももしっかり記載されておりとても良いと思う。
◎部会長 (身体活動・運動推進部会)	<ul style="list-style-type: none"> ・ PHRは比較的新しい概念であると思う。【資料5-1】19ページ目にPHRについての用語説明が書かれているが、17ページ目にもPHRが使用されているので、先に説明があるほうがよいと感じた。
◎部会長 (身体活動・運動推進部会)	<ul style="list-style-type: none"> ・ PHRの用語説明は事務局にてご検討いただきたい。
○ヘルシーキャンパス京都ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヘルシーキャンパス京都ネットワークではウォーキングチャレンジという新しいデータを活用した健康づくりの取り組みを次年度以降に市全体で取り組んでいけたらと考える。また、ヘルシーキャンパスフォーラムでは大学生が子供たちに食育を伝えるような取り組みもしているので、京都市と連携して取り組めたらよいと思う。
○(公社)京都府助産師会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動のフィールドが産科となるので、今回のプランについて妊産婦へ啓発していきたい。
○(一社)京都府医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・ パブリックコメントを踏まえての変更点について、健康日本21対策委員会でも報告をお願いしたい。
◎部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の意見を反映した良いプランが出来たのではと考えるので、今度は実践

(身体活動・運動推進部会)	に移すフェーズとして、引き続き取り組んでいきたい。
---------------	---------------------------

(3) 京都市民健康づくり推進会議に係る部会の再編について

報告・説明 事務局

- ・ 【資料6】 京都市民健康づくり推進会議に係る部会の再編について

意見聴取等 ○機関・団体等 ◎部会長（食育推進部会、身体活動・運動推進部会、口腔保健部会）●事務局

○(一社)京都府薬剤師会	・ 部会の再編後もそれぞれの部会に出席できればと考える。
●事務局	・ 「がん」が生活習慣病に分類されることに疑問を感じる。
◎部会長 (身体活動・運動推進部会)	・ 健康日本21（第3次）において、生活習慣病をNCDs（非感染性疾患）として記載されており、その中に「がん」が含まれていることから、このような分類になったことをご理解してもらいたい。
○(一社)京都府歯科医師会	・ 国では生活習慣病をNCDsの一括りとして対策をしていくことになっているので、そこに合わせて対策していこうという趣旨であると思う。
◎部会長 (身体活動・運動推進部会)	・ NCDsの対策としては生活習慣の改善の他にも、健診（検診）と一体的に進めていくということも必要であると思う。
◎部会長 (身体活動・運動推進部会)	・ 部会の再編により、健診という点で生活習慣病における特定健診と歯科健診が縦で切られることがないようにしてもらいたい。また、今回の部会では食育についても議論を深めることができたが、次回以降も連携をとっていかないことには、具体的な取り組みの実現には繋がらない。それぞれの部会で議論されている内容について共有する場として京都市健康づくり推進会議が設置されていることであろうが、各部会においても共有できるようにしてもらいたい。
◎部会長 (身体活動・運動推進部会)	・ 今回の部会では3部会が合同で開催されたことにより、分野横断的に議論できたことが大変良かった。次年度以降は、その役割を京都市健康づくり推進会議が担うことにもなるが、すべてを網羅することは難しいと思うので、年1～2回は合同で開催すること等の運用上の工夫は必要と感じる。
◎部会長（口腔保健部会）	・ 口腔保健部会から見ても、何を食べるか、どう食べて使うかが大切となるので、他部会との連携をとっていくことが大切と感じる。
◎部会長（食育推進部会）	・ 他部会で取り組んでいる内容を知ること、食育推進部会としてどのような連携ができるが考えることができるので、次年度以降も合同部会の開催等を検討してもらいたい。
◎部会長 (身体活動・運動推進部会)	・ 部会再編の決定は京都市健康づくり推進会議になるかと思うが、再編にあたり各部会の連携を強調した上で決定してもらいたい。
○市民公募委員	・ 能登半島地震において避難生活している高齢者の活動量減少から、心身に不調をきたしていると聞いている。高齢者の健康づくりには外出することがとても大切である。京都市は緑が多く環境にも恵まれており、敬老乗車証の制度も実施されていることもあるので、歩く条件は非常によい都市であると思う。今回のプランを打ち出す際には、その良さもアピールすることが必要である。また、プラスせんぼのフレーズがどの区役所・支所に行っても掲げられており、印刷物にはロゴマークを使用する等、あらゆる場面で目にするようになれば、

<p>◎部会長 (身体活動・運動推進部会)</p>	<p>外出するきっかけづくりになるのではないと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外に出ていける環境づくりはとても大切である。健康づくりには予算がつきにくいものであるので、健康づくりの価値観を上手く表現していく必要がある。また、健康づくりという取り組みに価値があるということを、皆さんと一緒にアピールして、実践していければと思う。 ・ 健康づくりは、個人・家庭・地域がつながり、みんなで促していくことが非常に重要である。これからは、実践に向けて皆さんと一緒に力を合わせていきたい。
-------------------------------	---

4 口腔保健部会退任のあいさつ 大阪大学大学院歯学研究科 天野 敦雄教授

5 閉会挨拶 京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室長